

稼働一辺倒を見直し、
安全運航、人材確保、
健康で働き続けられる
労働環境に変えよう！

フェニックス

PHOENIX

< 発行者 >

航空安全推進連絡会議 03-3742-9359

日本乗員組合連絡会議 03-5705-2770

航空労組連絡会 03-3742-3251

http://www.kohkuren.org/

一時金・職場改善など交渉本格化

増枠対策・過重労働の是正

手当の引上げ・勤務改善も



進む旅客手続の自動化。無人化される手荷物預入

日韓関係の悪化により韓国からの訪日客が激減する一方で中国からの訪日客は増加傾向に。ラジビードカードによる欧米客からの訪日客増加もあり9月までの累計は前年同期比4割増の244万7800人。IMFは米中貿易摩擦の英国のEU離脱などを背景に成長率を下方修正。国内経済は消費税率引き上げや台風被害など、今後の影響が懸念されます。こうしたなかでも航空客社の上期決算は好業績が予想されています。19年末闘争は一時金の事業改善命令を受けた引き上げは、一時的な日本航空の対応策は今後の重要課題です。JAL争議を始めたとした争議関係にも年末は重要な局面を迎えます。

一時金をめぐる交渉はJALグループ各労組やNAFCO労組・JAS新労組が中心。一時金要求は日航乗組が夏冬年間6カ月、CCUは3・3カ月以上、日航ユニオンは3・1カ月、JGSグループ各労組は3・1カ月以上、JGS大阪労組・JGS九州労組は3・1カ月以上5万円の統一要求を決定しています。NAFCO労組は3・5カ月以上5万円。JAS新

2019 年末闘争

労組は2・77カ月要求とあわせ、新賃金制度導入に伴う諸課題の解決に取り組まざる。

各労組の年末一時金要求

日航乗組	年間6カ月+15万円以上
CCU	3.3カ月以上
日航ユニオン	3.1カ月+5万円
GHU	3.1カ月+5万円
JAS新労組	2.77カ月
NAFCO労組	3.5カ月+5万円

※日航乗組、計算基礎額を基本給+職費手当を要求

※GHU=JGS労組、JGS大阪労組、JGS九州労組の連合体

求は日航乗組が夏冬年間6カ月、CCUは3・3カ月以上、日航ユニオンは3・1カ月、JGSグループ各労組は3・1カ月以上、JGS大阪労組・JGS九州労組は3・1カ月以上5万円の統一要求を決定しています。NAFCO労組は3・5カ月以上5万円。JAS新

各争議の解決へ全力

JAL解雇争議は労使による特別協議が断絶されましたが解決は至っていない。解決したいとした経営トップ発言の誠実な履行が求められます。この問題では、東京オリパ評議員の勲章議員が争議の長期化を懸念

する見解をJALに伝えるなど新たな動きも出ています。エミレーツ航空解雇争議は12月には中労委命令が出される状況にあります。JCU組合員32名が関与KLMオランダ航空の雇止め撤回裁判、フィンランド航空の不当

は、公務員はもとより、寒冷地に事業所を構える企業も多くで支給されている手当です。JGSグループのGHUは法定3手当の割増率引き上げ、ロードマスター・トリーディング手当、屋外作業手当、手当の引上げ、JGSグループ内格差是正を要求します。安全で働きやすい労働環境にさせることも重要な課題です。羽田空港や成田空港の増便に伴う人員増、腰痛対策や器材の増配備など。JLUでは、会社から成田・羽田空港増便に備えた機内・機外労働の見直し提案されており、年末闘争と並行して取り組まざる。

全日空乗組は経営努力に伴う諸課題や勤務時間管理などに取り組まざる。乗組員は疲労に直結する問題もあり、疲労に起因する事故トラブルを未然に防ぎ、安全のために、乗務時間制限延長には見直し含め慎重な検討が必要です。

国交省は日本航空に対して、飲酒事例で2度目の業務改善命令を出しました。同時に、運航乗務員の乗務前検査でアルコールが検出された事例が複数発生したことから、飲酒を禁止している時間（飛行開始前8時間）以前の過度の飲酒を禁止する飲酒基準強化を打ち出しました。なぜこのような事例が繰り返されるのか。飲酒問題解決に向け要因分析や背景含め掘り下げた議論が求められます。

■主な記事から■

- ▶エミレーツ解雇争議が12月中に中労委命令。勝利命令で職場復帰必す 2面
- ▶20年度予算の航空局概算要求は8.9%増の4517億円。グラハン支援に22億円 2面
- ▶KLM雇止め裁判で、会社側が反論書を提出 2面
- ▶10回目の大晦日を迎えさせない一議員・代理店要請、ハガキに奮闘中 3面
- ▶ITFを通し争議を世界へ発信、国際的な支援へ 3面
- ▶航空安全会議定例総会一職場実態や飲酒問題など議論 4面

労働相談は航空連に
03-3742-3251
e-mail/honbu@kohkuren.org

ラケビワー
ルドカップ2019は11月2日に全日程を終了します。本紙が読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。本紙が読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。本紙が読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。

配裁判の解決に向けた取り組み強化も求められます。航空連は年末闘争の回答予定日を11月5日、航空の山場を22日に設定し、一時金と職場改善要求の要求を込めます。年末闘争が始まります。

読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。本紙が読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。本紙が読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。

読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。本紙が読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。本紙が読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。

読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。本紙が読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。本紙が読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。

読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。本紙が読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。本紙が読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。

読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。本紙が読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。本紙が読者の手に届くころには優勝チームが決まっています。

「10回目の大晦日を迎えさせない」



有楽町JA Lプラザ前での宣伝行動。10月23日、東京争議団争議支援総行動

議員や代理店要請・ハガキに奮闘中

羽田空港でアピール行動

11月10日

JAL解雇争議

解雇争議解決のための交渉の場として、昨年5月から12回重ねられてきた特別協議。会社からは、社内制度として新たに設けた経験者採用制度や新グループ会社「ZIPP AIR」への応募を促すのみで解雇争議の解決につながる具体案は示されず、1年6カ月が経過しました。

この間に開かれた日本航空の株主総会で経営トップは、株主の質問に「解決に向け踏み出した……組合と誠心誠意話し合う」と答えた。

合（2016年6月）植木会長、選挙結果は残念、他にも方法がないか考え続ける……何とか解決したいと考えている（2019年6月、赤坂社長と答弁。しかし、経営トップの発言は誠実に履行されている。一方で、自民党議員から争議の長期化を懸念する声があがっています（前号で報告。こうした新たな動きと相まって会社対応を引き出すべく、当該組合（原告団）は「10回目の大晦日を迎えさせない」をスローガンに、今年末での解決をめざし内外での取り組みを強化しています。宣伝行

動の強化とあわせ全国の代理店要請、国会議員要請、東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れた取り組みなど、全力で運動を広げています。

4月に「かながわ連絡会準備会（8月に支援団体として正式発足）が行った代理店要請を皮切りに、原告団は各地域で支援者の協力のもと、すでに20地域、10カ所（原告団）の代理店を回り争議解決に向けた支援を要請しました。解雇争議を知らなかった代理店もあつたことから、要請では解雇争議への理解を深めてもらうべく丁寧な説明に努めました。支店長が対応した代理店もありました。「私にも組合員です。頑張ってください」との励まし言葉もありました。利用者の立場で、安全の観点から話すことで理解を深めて貰えました。

国会が開会された10月4日からは国土交通委員と厚生労働委員を中心に、争議解決に向けた努力を関係国会議員に要請しました。本会議員のため多くは議員秘書対応でしたが、飲酒問題で日本航空に業務改善命令が出されたこともあり、要請には真剣に耳を傾けていました。外の宣伝行動

が聞こえました。「大義は皆さんにあります」「頑張ってください」などの嬉しい反応もありました。

東京オリンピック関連の取り組みでは、現在、組織委員会宛てに要請はがきに取り組みんでいます。原告団事務局は「支援団体から自前で印刷した分を含め13,000枚（10月25日時点）を超えるハガキが組織委員会に届けられる」と思われると語りま

す。「かながわ連絡会」は独自に要請署名を呼び掛けています。

現在原告団を中心に、平日の昼休み時間（12時～13時）に「開天玉洲」のJAL本社前でアピール行動をしています。「会社が誠意ある対応を示すまで続ける」予定です。社内で「今年末の解決」の意気込みを訴えるため、10月14日と16日、成田空港の第2ターミナルJAL施設前で宣伝ビラを配布しました。宣伝には26名の原告が参加。

「解雇争議、大晦日まで解決を」のセッケンをつけた900枚のビラを配布しました。11月と12月にも引き続き実施します。11月10日は羽田空港で大アピール宣伝を、12月9日にはJAL本社大開行行動を実施します。

航空連の国際活動

国際活動は争議解決に向けた運動の柱の一つになっていきます。

ITF世界大会ではエミレーツ航空の解雇争議に対する声明が満場一致で承認され、エミレーツ経営に対し抗議の書簡も送ることが確認されました。会場ではITFフリーガルド・フサイ（法務担当のルワン・スパンシグ氏）の懇談が実現。エミレーツ経営のみならずITFホームページにKLM争議投稿

ITFホームページのアビエーションブログにKLM争議を紹介する記事を掲載しました。争議の解決を進める手段の一つとして、国際活動が活用されています。

ITF第44回世界大会は航空連がITFに正式加盟し初めての大会となりました。会場ではITFフリーガルド・フサイ（法務担当のルワン・スパンシグ氏）の懇談が実現。エミレーツ経営のみならずITFホームページにKLM争議投稿

ITFホームページのアビエーションブログにKLM争議を紹介する記事を掲載しました。争議の解決を進める手段の一つとして、国際活動が活用されています。

ITFホームページで争議紹介 世界へ発信 国際的な支援へ

ITFホームページで争議紹介 世界へ発信 国際的な支援へ

ITFホームページで争議紹介 世界へ発信 国際的な支援へ

ITFホームページで争議紹介 世界へ発信 国際的な支援へ

ITFホームページで争議紹介 世界へ発信 国際的な支援へ

ITFホームページで争議紹介 世界へ発信 国際的な支援へ

ITFホームページで争議紹介 世界へ発信 国際的な支援へ

求められる組織化の推進 そして政策活動

ITF世界大会で最も強く訴えられた今後の運動方針が組織拡大です。アジア地域に急拡大するLCC、欧州を中心に急伸する貨物輸送などが取り上げられ、LCCと貨物セクターの組織化が極めて重要であるとの認識が示されました。

大会ではライアン航空・カタル航空・LATAMの組織化キャンペーンの前進が懸念されるなど組織化の取り組みが紹介されました。また、「デルタ航空の組織化を全面的に支援することの再確認」は全会一致で採択されました。いずれの活動も大変な努力をかけて行われていることを学ぶことができました。

今期、航空連は、空港労働者の組織化を目指すグローバル・ティ・オフ・アクション、IAMデルタキャンペーンに参加し、組織化の取り組みに役割を果たすことができました。

組織化の推進
ITF世界大会で最も強く訴えられた今後の運動方針が組織拡大です。アジア地域に急拡大するLCC、欧州を中心に急伸する貨物輸送などが取り上げられ、LCCと貨物セクターの組織化が極めて重要であるとの認識が示されました。

大会ではライアン航空・カタル航空・LATAMの組織化キャンペーンの前進が懸念されるなど組織化の取り組みが紹介されました。また、「デルタ航空の組織化を全面的に支援することの再確認」は全会一致で採択されました。いずれの活動も大変な努力をかけて行われていることを学ぶことができました。

今期、航空連は、空港労働者の組織化を目指すグローバル・ティ・オフ・アクション、IAMデルタキャンペーンに参加し、組織化の取り組みに役割を果たすことができました。

組織化の推進
ITF世界大会で最も強く訴えられた今後の運動方針が組織拡大です。アジア地域に急拡大するLCC、欧州を中心に急伸する貨物輸送などが取り上げられ、LCCと貨物セクターの組織化が極めて重要であるとの認識が示されました。

大会ではライアン航空・カタル航空・LATAMの組織化キャンペーンの前進が懸念されるなど組織化の取り組みが紹介されました。また、「デルタ航空の組織化を全面的に支援することの再確認」は全会一致で採択されました。いずれの活動も大変な努力をかけて行われていることを学ぶことができました。

今期、航空連は、空港労働者の組織化を目指すグローバル・ティ・オフ・アクション、IAMデルタキャンペーンに参加し、組織化の取り組みに役割を果たすことができました。

組織化の推進
ITF世界大会で最も強く訴えられた今後の運動方針が組織拡大です。アジア地域に急拡大するLCC、欧州を中心に急伸する貨物輸送などが取り上げられ、LCCと貨物セクターの組織化が極めて重要であるとの認識が示されました。

大会ではライアン航空・カタル航空・LATAMの組織化キャンペーンの前進が懸念されるなど組織化の取り組みが紹介されました。また、「デルタ航空の組織化を全面的に支援することの再確認」は全会一致で採択されました。いずれの活動も大変な努力をかけて行われていることを学ぶことができました。

今期、航空連は、空港労働者の組織化を目指すグローバル・ティ・オフ・アクション、IAMデルタキャンペーンに参加し、組織化の取り組みに役割を果たすことができました。

組織化の推進
ITF世界大会で最も強く訴えられた今後の運動方針が組織拡大です。アジア地域に急拡大するLCC、欧州を中心に急伸する貨物輸送などが取り上げられ、LCCと貨物セクターの組織化が極めて重要であるとの認識が示されました。

大会ではライアン航空・カタル航空・LATAMの組織化キャンペーンの前進が懸念されるなど組織化の取り組みが紹介されました。また、「デルタ航空の組織化を全面的に支援することの再確認」は全会一致で採択されました。いずれの活動も大変な努力をかけて行われていることを学ぶことができました。

今期、航空連は、空港労働者の組織化を目指すグローバル・ティ・オフ・アクション、IAMデルタキャンペーンに参加し、組織化の取り組みに役割を果たすことができました。

安全会議だより 125

定期総会
職場実態や取り組み報告
飲酒問題解決に向け議論

熱心に報告を聞く代議員

航空安全推進連絡会議は10月1日と2日、第54回定期総会を開催。53期の総括と54期の活動方針を確認しました。総会では各加盟団体から厳しい職場状況などが報告されました。

飲酒問題では、「アルコールチェックは、本来、飲酒の影響下での航空機の運航への関与を防止するためのものであるのに、現状は検査機の数値が出ないことが目的と

なっている」「なぜアルコールを飲まないといけない状況になっているのかなど意見を分析し解決しないと、懲戒権を振りかざすだけの対応策では何の解決にもならない」などの意見が出されました。海外航空会社における飲酒問題に対する対応例（再発防止策や当事者救済）が共有され、日本の検査手法との違いも鮮明なものとなりました。

新米の季節です。我が家でも田舎の実家から「もつす」新米が送られてきました。ところが、この本を読むと、

山田 正彦 著

売りと渡される食の安全

元農水大臣が問題提起 なぜ日本だけが世界と逆走するのか



読書のススメ

にわかに信じられない事態が起きています。私は農家でないので、手間に手間をかけて作られるお米の工程も知りません。第1章では、「国民を二度と飢えさせない」としてお米の優秀な種をそれ

ぞれの地域にあうように長年品種改良しながら種づくりを行ってきたことが触れられます。私たちの主食である米、麦、大豆の安心、安全の確保や安定供給を国に義務付けていた。ところが、この種子法を殆ど議論なしに議論もされず、新聞やテレビでも報道されなくなりました。2018年4月をもって、廃止させてしまった。さらに安倍政権は「種田法（別名モンサント法）」という法律の改定案を次の国会に提出しようとしている（文中より）。要は日本の食料自給率38%の中でコメの自給率97%の種を

航空安全会議
54期はじまりにあたって

議長 梅津浩

台風19号が来襲し未曾有の被害に見舞われました。本稿を書いている時点でも未だ被害の全容はつかめていない状況にあります。多くの被災者が避難をせざるを得ない状況です。

当日もニュースでは、盛んに避難勧告や避難命令が発出されています。しかし、被害に遭った人、前にも避難した人は、いつも通り少数でした。今回もたいしたことはないだろう、ニュー

スが大げさなだけ、年寄りや子供がいるので避難が大変、などそれぞれ理由があったのでしょう。これは正常性バイアスが過度に働いてしまったために起こった行動と考えられています。正常性バイアスとは人間が予期しない事態に即時に「き（ありえない）」という先入観や偏見（バイアス）が働き、物事を正常の範囲だと自動的に認識する心の働き（メカニズム）を指します。

こんなときこそしっかりと状況を認識し、落ち着いて行動することが重要です。そのために有効なのが「訓練」です。訓練を重ねると、いざというとき、自然にいつもと同じ行動をとることができ、訓練と同じ行動をとることで身を守ることでできる、というわけですね。非常事態の際、正常性バイアスに脳を支配されないよう、本当に危険なのか、何をしたらいいかを見極める判断力

を養い、さらに「訓練」の重要性を肝に命じておきましょう。

我々は安全とは何か、危険な状況と避けるにはどうしたら良いのかと常日頃から自問自答しています。しかし航空事故はいつ何時に起こるかまったくわかりません。今日が安全だったからと言って、明日も安全であるだろう、ということはないのです。

我々航空に従事している者達は、日頃から日常と非日常の切り替えに翻弄されます。冷静に対応することが求められます。1年間しっかりと活動し、安全な空を保てるよう行動していきましょう。

12月恒例行事のご案内

【成田地区】

餅つき大会

いつ 12月14日(土)10:00~15:00

どこで 成田市赤坂公園(ボンバルタ前) 成田ニュータウン内

参加費 500円 主催:成田地連



【羽田地区】

ボウリング大会

いつ 12月7日(土)11:00~15:00

どこで ACボウル蒲田(JR蒲田駅東口)

参加費 1000円(子供500円)

※大会後に交流会予定(交流会のみ参加可能)

主催:フォーラム羽田

お問い合わせ先: 航空連事務局 03-3742-3251

けいぞむ

最大級の台風の直撃と言われた台風19号。広範囲に甚大な被害を及ぼしました。9月に来た台風15号とほぼ同じ進路だったのが、海面より低い東京湾東部の運河沿いに建つ私のマンションは、隅田川の下流で運河が氾濫すれば、マンション全体が電源も故障してアウトになります。台風前日の11日はこのスーパーも食料や電池などは売り切れでした。消費税アップでもしょうがありません。私もヘランタをかたづけ、停電時に備えて、ラジオや照明器具を準備

して風呂には水をほり籠城の準備を整えて台風の通過を待ちました。

東京は飛行機も新幹線も私鉄も含め交通機関はみなほとんどストップするという緊急事態。12日の夕刻は台風が通過して激しい風雨にやみやでした。マンション前の運河もきりぎりす音がして、たが、広範囲にわたって多くの河川が氾濫して甚大な被害を受けたまま、お見舞い申し上げます。

さて、台風の日には我が家のテレビの音が壊れました。台風明けの週末、連れの心が緩みだして財布のひもが緩んだように4Kテレビを購入しました。頑張って働かねばなりません。